

～新しい公共支援基金事業の概要～

新しい公共支援基金事業は、国の交付金を財源として構成する新しい公共支援基金を活用し、新しい公共の担い手となる意欲のある NPO 等が自ら資金調達し、自立的に活動することが可能となるよう、環境整備を進める事業です。

◇新しい公共とは

「官」だけではなく、市民の参加と選択のもとで、NPO や企業等が積極的に公共的な財・サービスの提案及び、提供主体となり、医療・福祉、教育、子育て、まちづくり、学術・文化、環境、雇用、国際協力等の身近な分野において共助の精神で行う仕組み、体制、活動など。

◇事業内容

- ①NPO 等の活動基盤準備のための支援事業
- ②寄付募集支援事業
- ③融資利用の円滑化のための支援事業
- ④つなぎ融資への利子補給事業
- ⑤新しい公共の場づくりのためのモデル事業

◇事業のポイント

- ①地域の課題解決に意欲のある NPO 等の活動基盤整備のために、ニーズに合わせた個別支援を対象としている。
- ②NPO と、県・市町村との協働モデル事業の実施により、官民協働による地域課題解決も促す。
- ③自治体職員の協働に対する意欲改善を促す。

◇事業の期間・基金造成額

- ①平成 23 年度～24 年度
- ②基金造成額 131,000 千円（平成 23 年度当初予算：15,448 千円）